

海外メジャーの動向

ExxonMobil

○10月3日付プレスリリース

全ての適合油は Residual Grades (RMD80-RMG380) であり、互いに共用可能 (the formulations are all compatible with each other)。

供給場所：アントワープ、ロッテルダム、ジェノバ、マルセイユ、シンガポール、レムチャバン、香港（北米など、他の場所については 2018 年中に通知）

SHELL

○8月23日付プレスリリース

「適合油の初期の試験は終わったので、シンガポール、ロッテルダム、ニューオーリンズの3港で適合油が提供できるようになり、その実船試験をする者を募集する」

○10月3日付プレスリリース

0.1%S ULSFO 0.5%S VLSFO 0.1%MG0 0.5%MG0 3.5%HSFO を提供する港を公表
顧客に対する適合油の実船試験は、ロッテルダム、シンガポール、ニューオーリンズで提供中。

○9月25日 シンガポールにて聴取

- ・本年、シンガポール、ロッテルダム、ニューオーリンズにおいて実船試験用の燃料油提供を開始したところである。既存の顧客（SHELL から既に燃料油を購入している船社）向けに既に何隻も試験をしている。実船試験にあたってはエンジンメーカーとも協力し、本船にエンジニアを乗船させている。隻数は言えないが、コンテナ船、タンカー、クルーズ客船で実施済み。今後も実船試験の門戸は開いている。

注）粘度は開示していないが、低粘度でクーラーが必要で、ユーザーが忌避することは了知。実船試験もコンテナやタンカーなど大型の既存船で実施しており、これらの船が実船試験の期間のみ改造することはありえないこと、上記プレスでも、0.50MG0/DMA と、0.5%F0 は明確に区別されていること、EXXON や TOTAL が Residual Grades を提供していることから考えても、同様の粘度の油を提供しているものと考えられる。

TOTAL

○9月25日 シンガポールにて聴取

実船試験は欧州にて大型コンテナ船で実施済みであり、実海域での船の動揺などの影響も含めて評価した。実船試験時に使用した適合油の動粘度は 110~130cSt。実際の製品は、もう少し粘度は下がるだろう。80~120 が「Window」であると考ええる。